

からの出血を押さえます。お腹の手術やがんを取り除く手術に使います。

③縫合系による模擬体験

創傷(そうしよう)や手術部位の組織を繋ぎ合わせるための縫合系についての体験です。縫合糸や縫合針、持針器(じしんき、縫合針を把持するための器具)の使い方を教わりま

その後、糸結びです。一人1台の糸結びの模型でその結び方や縫合について外科の医師の指導を受け、練習します。

糸結び(結紮(けつさつ))は外科手術の基本です。糸を切らずに結び、なおかつ、適切な力で締める必要があります。丈夫な糸でも、急に引つ張ったり結びが乱暴だと切れてしまいます。

はじめはうまくいきませんが4・5回繰り返すと中学生は上手く出来るようになります。うれしうです。



④自動縫合器・自動吻合器体験

④自動縫合器・吻合器体験

手術で臓器などを縫い合わせる場合、メスで切った針と糸で繋ぎ

←③縫合系による模擬体験



←⑤整形外科体験



ますが、自動縫合器を使うとホチキスのように縫い合わせる事が出来ます。また吻合とは血管や腸などの端同士を繋ぐことです。自動吻合器のレバーを慎重に握り、結合します。これらの機器を手

⑤整形外科体験

整形外科は、骨や関節、筋肉などのけが、痛み、知覚障害、運動障害などを担当する部門で。骨折、脱臼、打撲などの外傷をはじめとして、肩こり、腰痛、膝痛など、日常的に起こる体の痛みなどを診

療します。また出来るだけ運動機能を元通りにすることや痛みを取ることも整形外科の主要な仕事です。今回は骨折部を手術によって修復し、固定器具を使用して固定する、骨接合術の模擬体験です。骨の模型を使っ

機器の操作や、手術用ドライバードボルトを埋め込んだりすることを整形外科の医師が手を添え指導する模擬体験でした。

修了証書の授与

5つのグループは①内視鏡外科手術から⑤整形外科体験までを100分程掛けて模擬体験。参加中学生の皆さんは少し疲れ気味ですが、満足笑顔です。

記念写真を撮影後、北見赤十字病院の相原事務部長から参加中学生に「未来の医師認定書」が一人ひとりに授与されました。

その後、事務部長が閉会の挨拶をし、ブラック・ジャックセミナーは修了しました。

共催各社に感謝

当企画は北見赤十字病院、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)と当会の共催で



修了証書「未来の医師認定書」の授与

す。当会の役割はプロジェクトの連絡・調整など、いわゆる世話役です。共催各社の皆さんの協力で完成に近い実績を残すことができました。誠に有り難く、感謝します。当会はこの実績を基に、更なる目標に向かって歩んでいきます。